



令和7年5月29日発表

北陸経済調査

〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内(石川県、富山県、福井県)の
最近の経済動向をみると、緩やかに持ち直している。

※前回4月判断を据置き(令和6年11月以降、7か月連続の据置き)

(総括判断のポイント)

個人消費は、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では「緩やかに回復しつつある」。生産は、化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械が弱い動きとなっていることなどから、全体では「弱含んでいる」。雇用情勢は、「緩やかに持ち直している」。

【先行き】

○ 雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな持ち直しを支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続による影響なども、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。

【総括判断】

項目	令和7年4月	令和7年5月	前回との比較
総括判断	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	→

【主要項目の判断】

項目	令和7年4月	令和7年5月	前回との比較
個人消費	緩やかに回復しつつある。	緩やかに回復しつつある。	→
住宅建設	緩やかに持ち直しつつある。	持ち直しつつある。	↗
生産	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。	弱含んでいる。	↘
雇用情勢	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	→

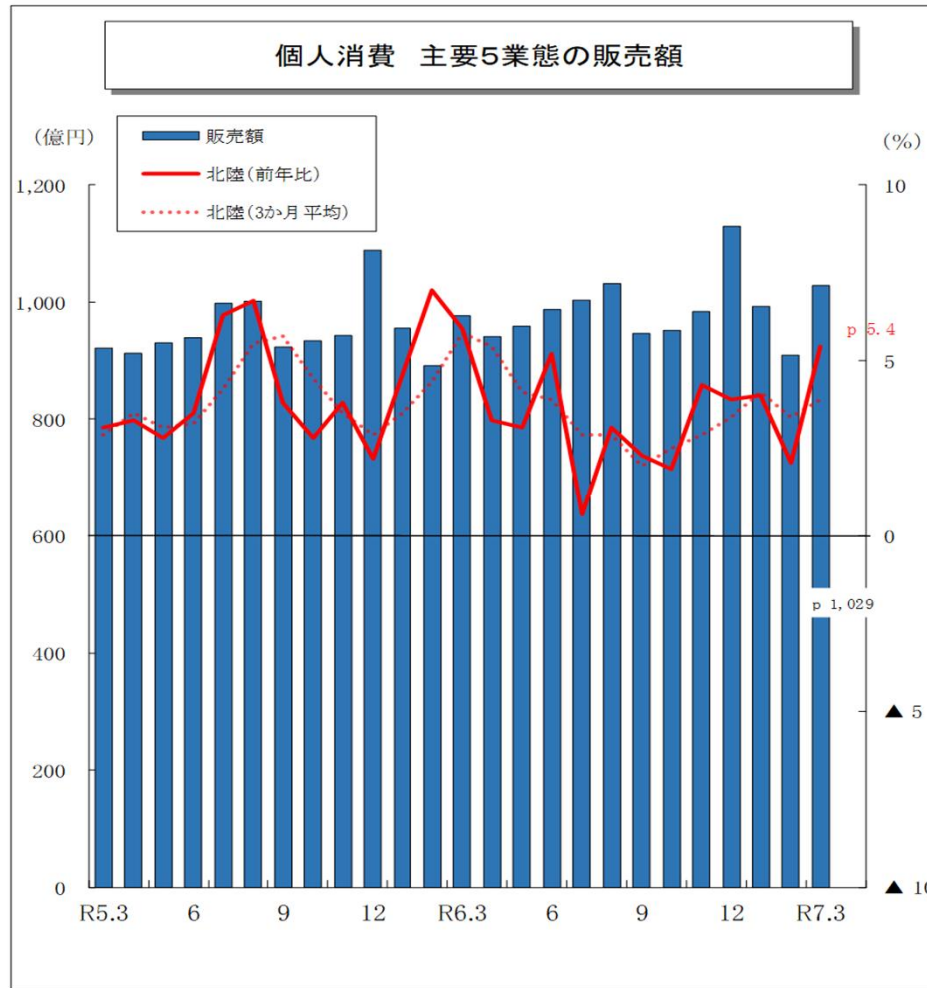
令和7年5月
財務省 北陸財務局

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

1. 個人消費 … 緩やかに回復しつつある

※ 前回4月判断を据置き(令和6年11月以降、7か月連続の据置き)

百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。



業 態	判 断	前回との比較
百 貨 店 ・ ス ー パ ー	緩やかに回復しつつある	➡
コンビニエンスストア	堅調となっている	➡
ド ラ ッ グ ス ト ア	拡大している	➡
ホ ー ム セ ン タ ー	弱含んでいる	➡
家 電 大 型 専 門 店	持ち直しの動きに一服感がみられる	➡
新 車 販 売	緩やかに持ち直しつつある	➡

(注1) 主要5業態は、各業態(百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店)の販売額を合計したもの。

(注2) 3か月平均は当局試算。

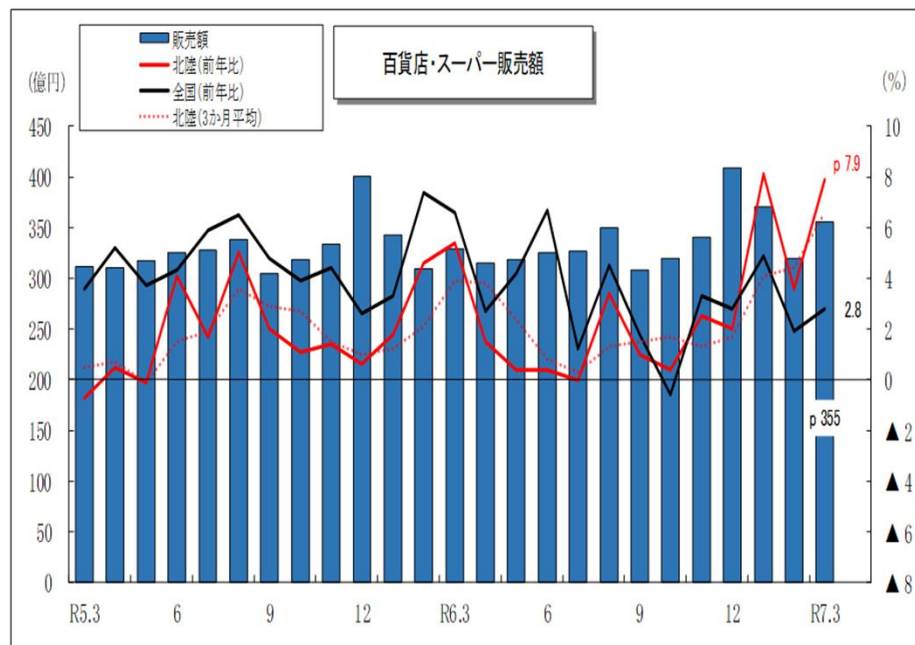
(資料) 経済産業省、中部経済産業局、北陸財務局

(1) 百貨店・スーパー販売

3月の百貨店・スーパー販売は、

- ・百貨店では、衣料品等に動きがみられることから、前年を上回っている。
- ・スーパーでは、飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。

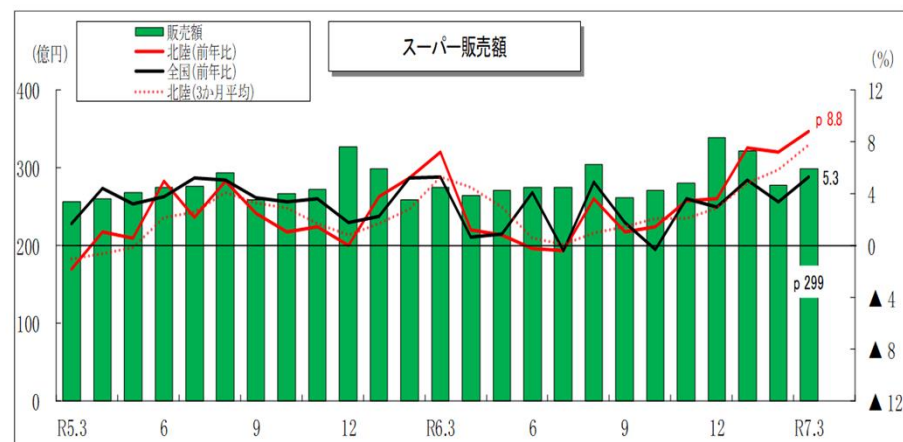
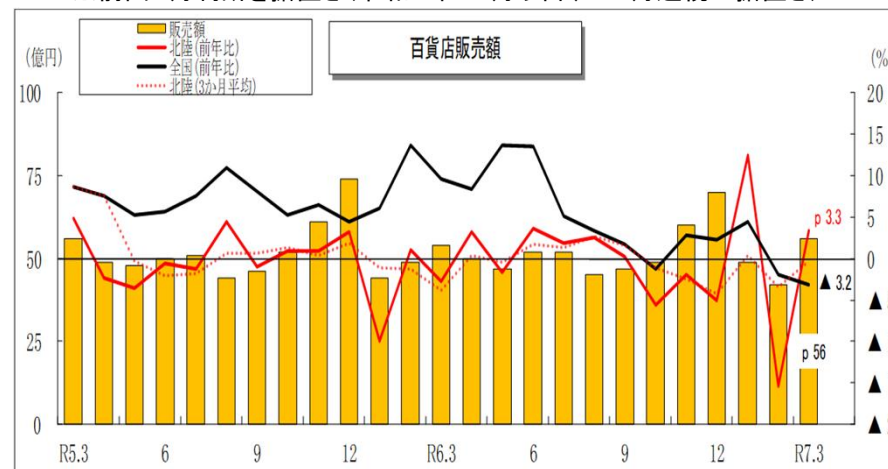
以上のような状況を踏まえると、緩やかに回復しつつある。



(主なヒアリング結果)

- 3月は天候が良く、春物衣料の動きが良かった。また、食品催事も好調に推移し、来店客数も増えた。(百貨店)
- 暖かい日が多く2月に落ち込んだ客数が回復したほか、食品催事や美術品など高額品が牽引し前年を上回った。(百貨店)
- 物価高で日々の食費を節約している分、プチ贅沢として物産展が人気。(百貨店)
- 野菜類は単価が上がっている分売上げは伸びているが、数量は落ちている。(スーパー)
- ビールは4月の値上げ前に駆け込みがあったが、4月はその反動で前年比1割減となっている。(スーパー)
- 値上げによってコメの売上げが前年と比べて倍増している。また、冷凍のめん類など代替食品も動いている。(スーパー)

※前回4月判断を据置き(令和6年11月以降、7か月連続の据置き)



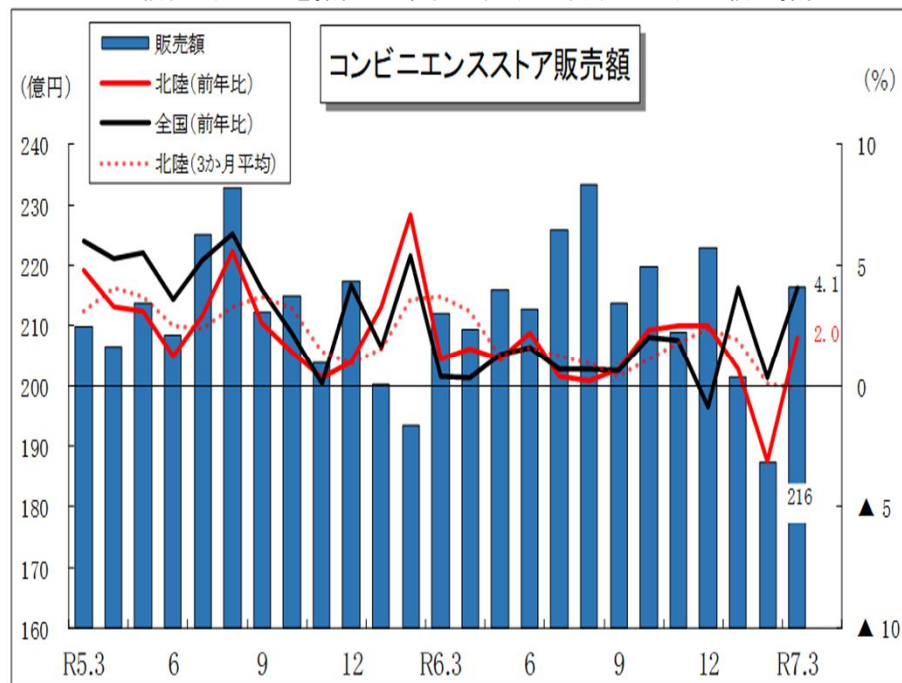
(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局

(2) コンビニエンスストア販売等

①コンビニエンスストア販売は、米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。

※前回4月判断を据置き(令和4年8月以降、34か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

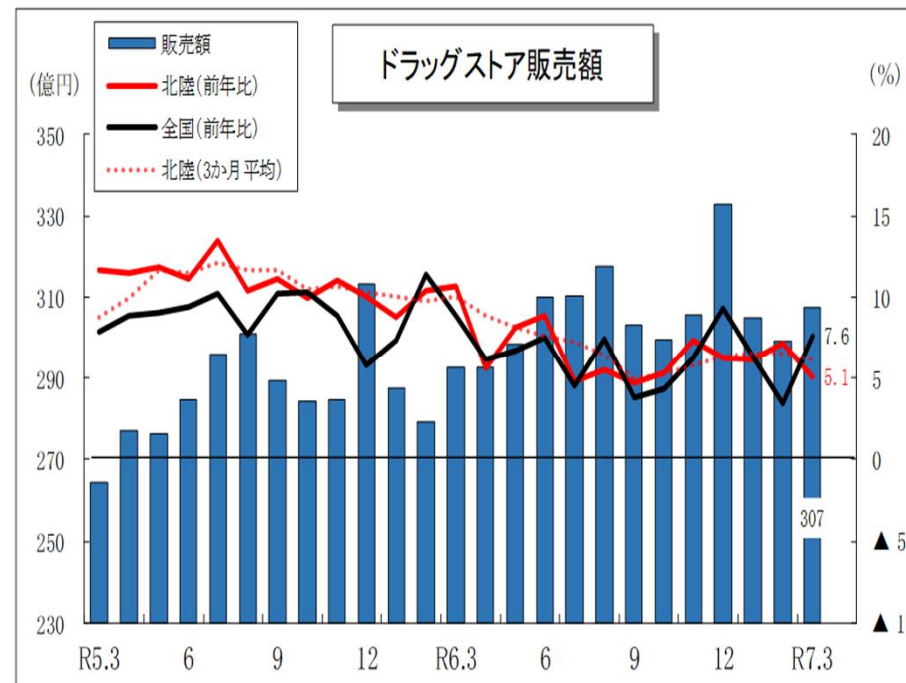
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 3月は、気温の上昇から飲料等がよく売れた。
- 物価高の影響から、お弁当よりも、単価の低いおにぎりやホットスナックを組み合わせで購入する動きがみられる。

②ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

※前回4月判断を据置き(令和5年11月以降、19か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

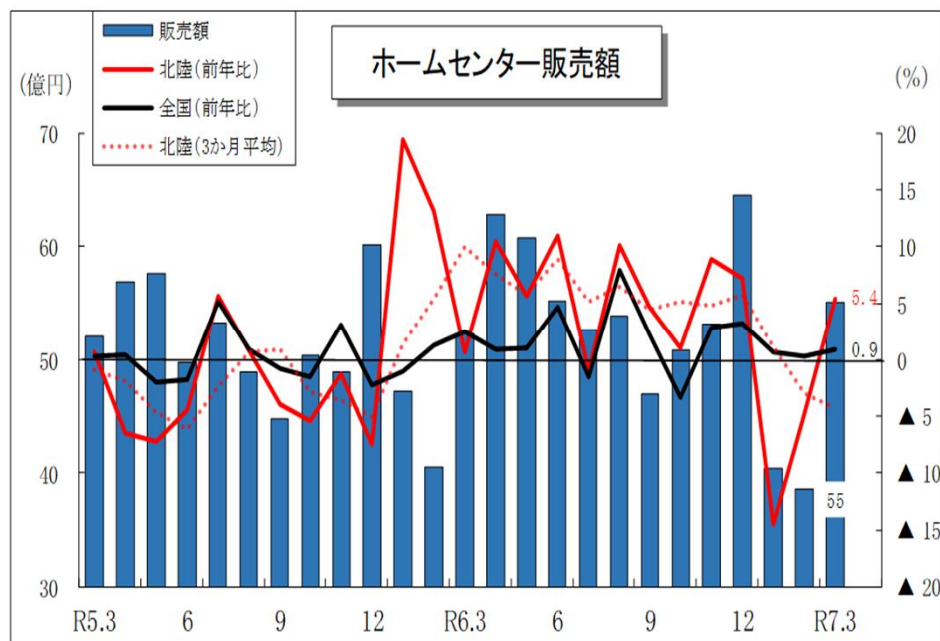
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 例年3月に動きがみられる花粉症薬は、今年は動き出しが遅く、4月以降よく売れた。
- 引き続き生鮮食品が好調に推移しており、全体の売上げを牽引している。

③**ホームセンター販売**は、園芸用品に動きがみられるものの、弱含んでいる。

※前回4月判断を据置き
(令和7年4月以降、2か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

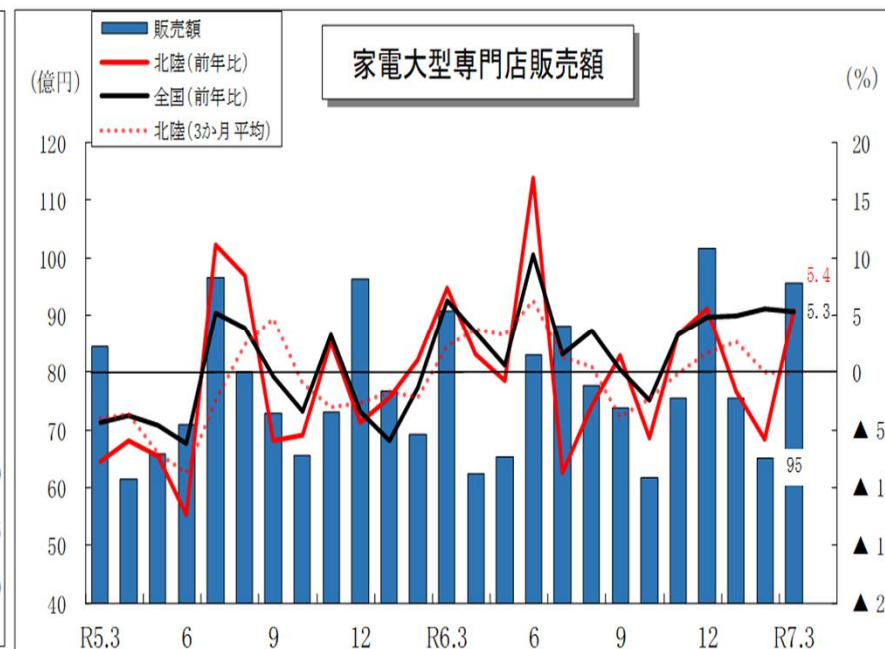
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 3月は、気温の上昇から、花苗や作業用衣料など園芸用品の売れ行きが良かったものの、4月は、例年より気温が低く動きが鈍い。
- 日用品などで、4月の値上げ前に駆け込み需要がみられた。

④**家電大型専門店販売**は、白物家電の動きが鈍いことから、持ち直しの動きに一服感がみられる。

※前回4月判断を据置き



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、北陸財務局

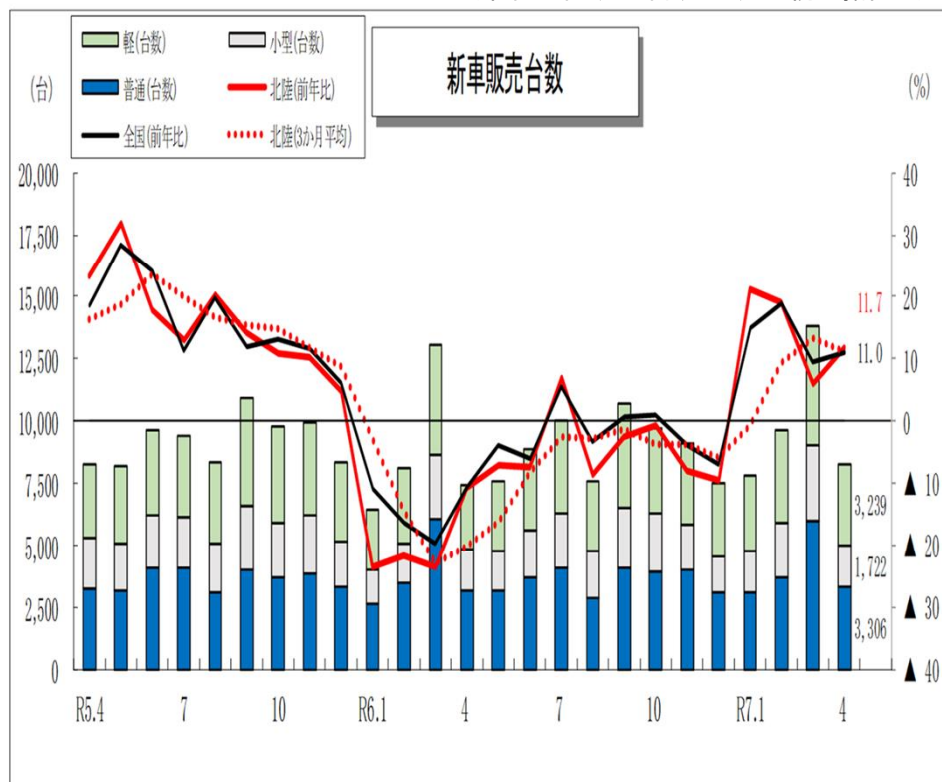
(主なヒアリング結果)

- 昨年あった被災による家電の買い替え需要がなく、引き続き白物家電の動きが鈍い。
- 新規機種発売やそれに伴う旧型の値下げ効果から、スマートフォンが好調に推移した。
- エアコンを前倒しで購入する傾向があり、3月から足下にかけてよく動いている。

(3) 新車販売

4月の新車販売台数は、前年を上回っており、緩やかに持ち直しつつある。

※前回4月判断を据置き
(令和7年4月以降、2か月連続の据置き)



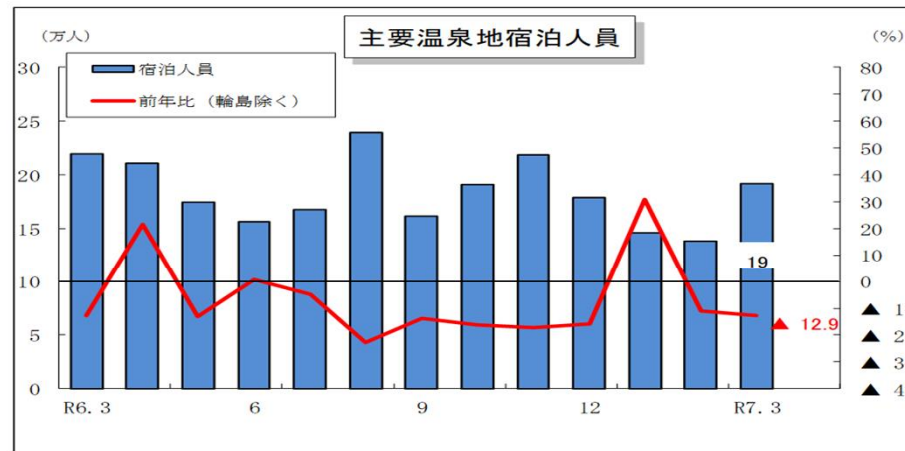
(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 認証不正問題等で出荷できなかった受注残があり、販売台数は今後も安定して伸びる。
- 軽乗用車の人気車種で、久しぶりに新型が発売される予定であり、今後も期待できる。

(4) 観光・旅行関連

① 3月の主要温泉地(輪島除く)の宿泊客数は、前年を下回っている。



(資料) 北陸観光協会

(主なヒアリング結果)

- イベント時には多くの来客があるが、昨年の応援割や新幹線延伸効果の反動で前年を下回った。(加賀)
- 5月の連休は、後半に満室となった旅館もあったが、全体としては日並びが悪く伸び悩んだ。(加賀)

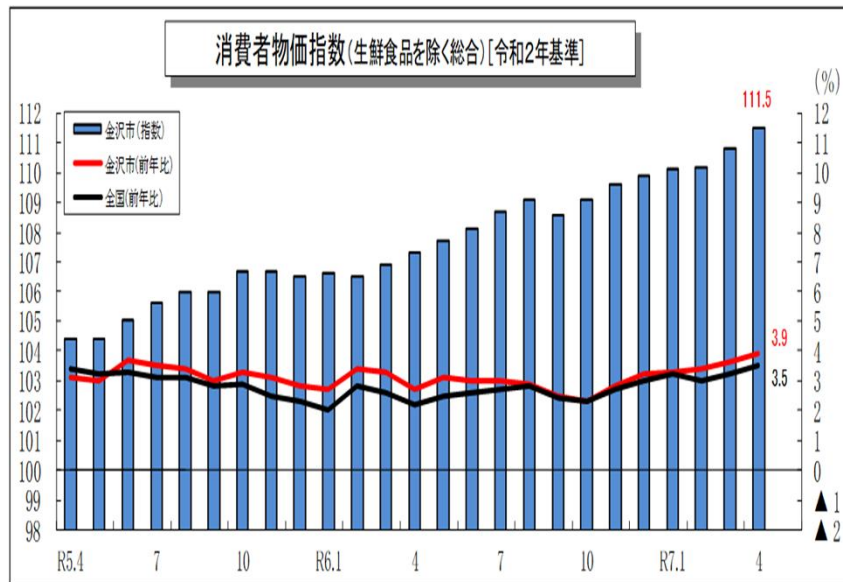
② 主要観光地の入込客数(4月)は、前年を下回っている。

(主なヒアリング結果)

- 肌寒い日が多かったことや、斜面崩壊による通行止めの影響で、岐阜県側からの入込客数が減少した。(福井)
- 延伸効果や北陸応援割の反動等で、前年には及ばないが、インバウンドが増加を続けるなど、全体として動きは悪くない。(金沢)
- 2年ぶりの青柏祭開催もあり、連休中は地元客や県内客を中心に多くの来場があった。また、応援ツアーも少しずつ増えている。(能登)

（消費者物価）

4月の消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

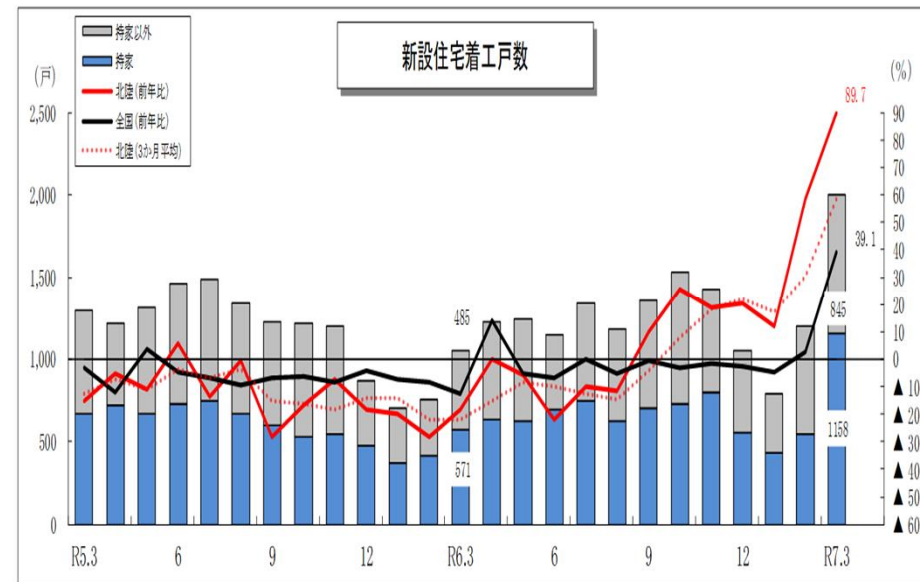


（資料）総務省

2. 住宅建設 … 持ち直しつつある

3月の新設住宅着工戸数などを踏まえると、持ち直しつつある。

※前回4月判断（「緩やかに持ち直しつつある」）を上方修正
（令和7年1月以来、4か月ぶりの上方修正）



（注）3か月平均は当局試算。

（資料）国土交通省、北陸財務局

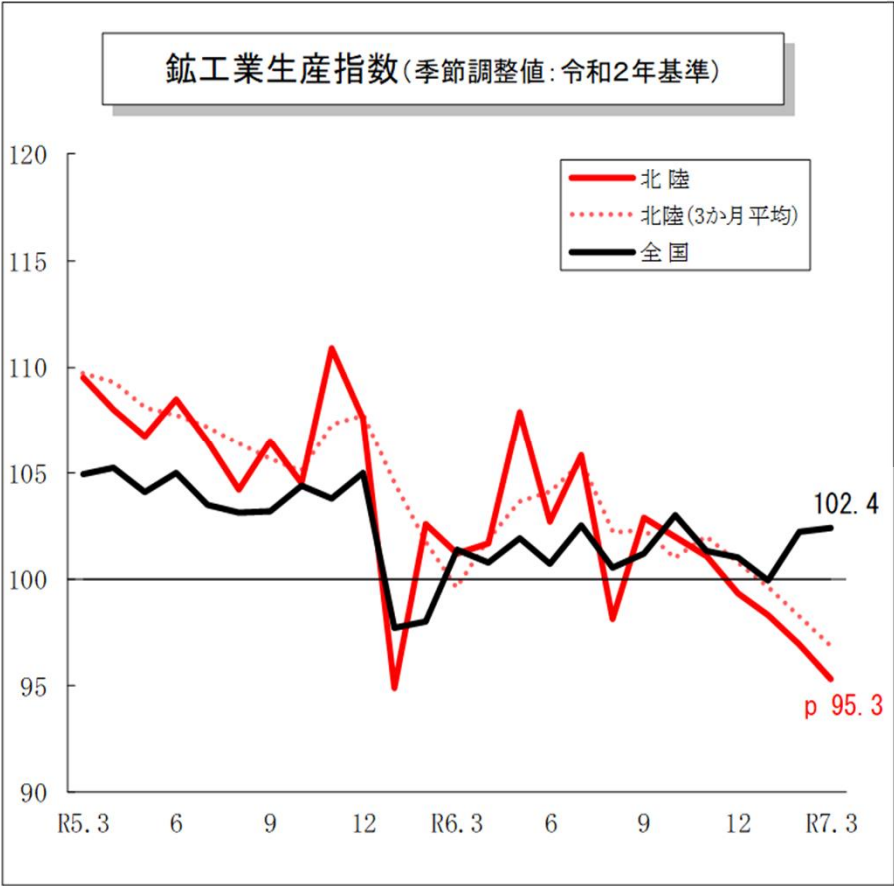
（主なヒアリング結果）

- 手続きやコスト増となる建築基準法の改正を前に、年度末までの着工を求める駆け込み需要があった。
- 被災家屋の解体等が徐々に進み、能登のほか、金沢など被災地から離れた地域でも建て替え需要が増えている。

3. 生産 … 弱含んでいる

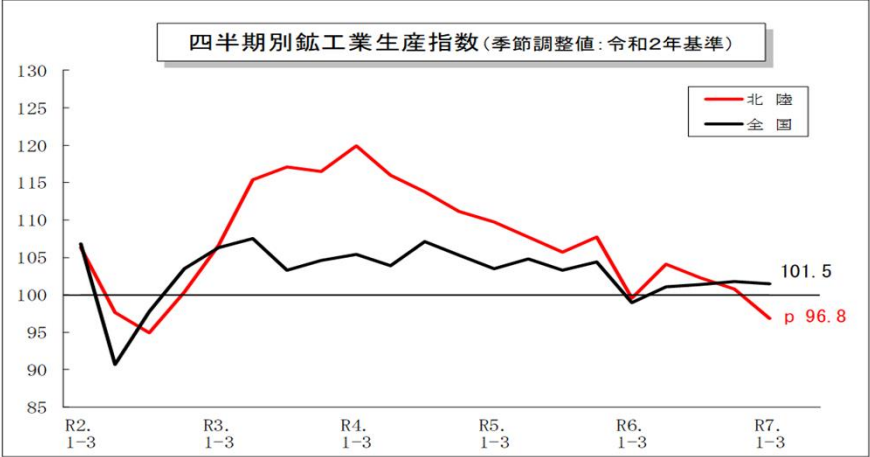
※ 前回4月判断(「持ち直しに向けた動きに一服感がみられる」)を下方修正(令和7年1月以来、4か月ぶりの下方修正)

化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械が弱い動きとなっていることなどから、全体では弱含んでいる。



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局



業 種	判 断	前回との比較
化 学	緩やかに回復している	➡
電子部品・デバイス	弱い動きとなっている	↘
生 産 用 機 械	弱い動きとなっている	↘
金 属 製 品	弱含んでいる	➡
織 維	緩やかに持ち直しつつある	➡

業種別にみると、

(1) 化学は、大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

※前回4月判断を据置き(令和6年11月以降、7か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

➢ジェネリック医薬品の需要が高まっているため、高水準の生産となっている。
➢ジェネリック医薬品の利用促進策の影響で、先発医薬品の一部品目で需要が落ち着いてきたため、当初の生産計画を見直した。

(2) 電子部品・デバイスは、スマートフォン向けや自動車向けを中心に、弱い動きとなっている。※前回4月判断(「弱含んでいる」)を下方修正(令和7年1月以来、4か月ぶりの下方修正)

(主なヒアリング結果)

➢スマホ向けは、中華圏メーカー向けで現地部品メーカーとの競争が続いており、動きが弱い。
➢自動車向けは、欧州を中心に自動車の販売不振が続いているほか、中国でも依然として在庫調整の動きがみられ、生産は計画を下回って推移している。

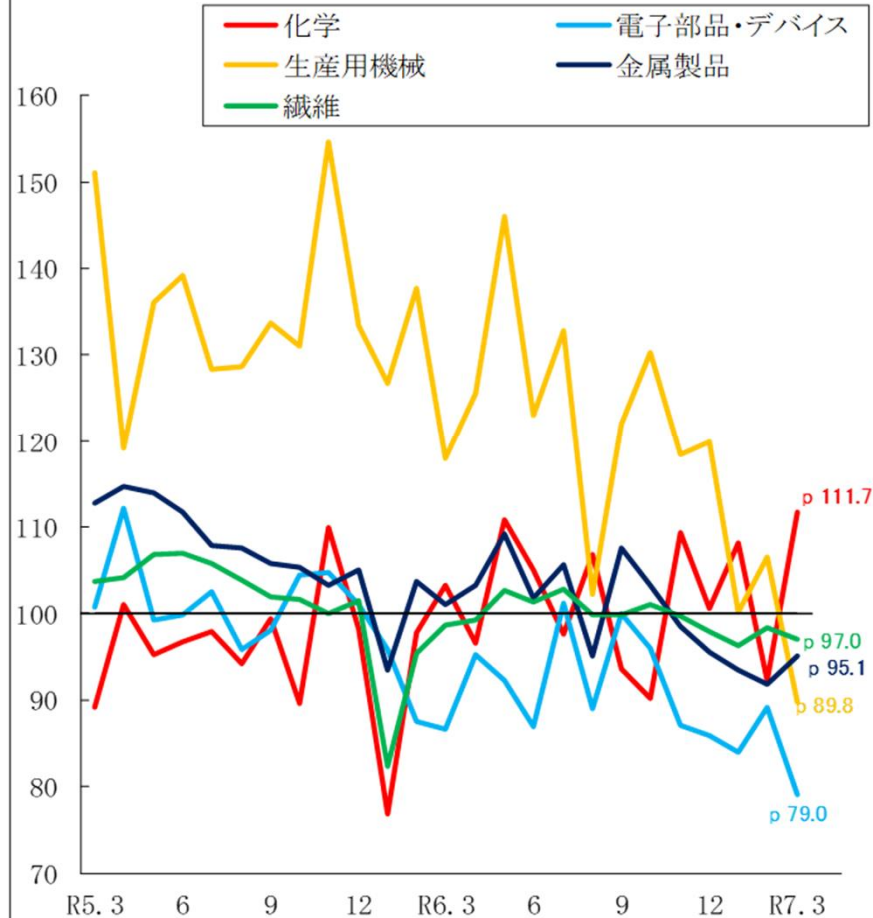
(3) 生産用機械は、半導体製造装置や繊維機械で持ち直しの動きに一服感がみられるほか、金属加工機械が弱い動きとなっていることなどから、全体では弱い動きとなっている。

※前回4月判断(「弱含んでいる」)を下方修正(令和6年10月以来、7か月ぶりの下方修正)

(主なヒアリング結果)

➢半導体製造装置は、スマホやPCの販売が伸び悩んでいることから、需要の回復が想定よりも遅れている。
➢繊維機械は、価格競争の激化や中国景気の停滞などにより、工場の操業度は低位なままであり、先行きも不透明。
➢金属加工機械は、引き続き、自動車関連企業に明るさがみられず、厳しい状況が続いている。

主要業種の単月生産指数(季節調整値:令和2年基準)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

(4) **金属製品**は、大宗を占めるアルミ建材で、ビル用に持ち直しの動きがみられるものの、住宅用が減少していることから、全体では弱含んでいる。
※前回4月判断を据置き(令和7年4月以降、2か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 住宅用は、複合サッシや樹脂サッシへのシフトが進み、アルミサッシの市場が縮小している。
- ビル用は、前年を上回るなど堅調に推移している。

(5) **繊維**は、衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

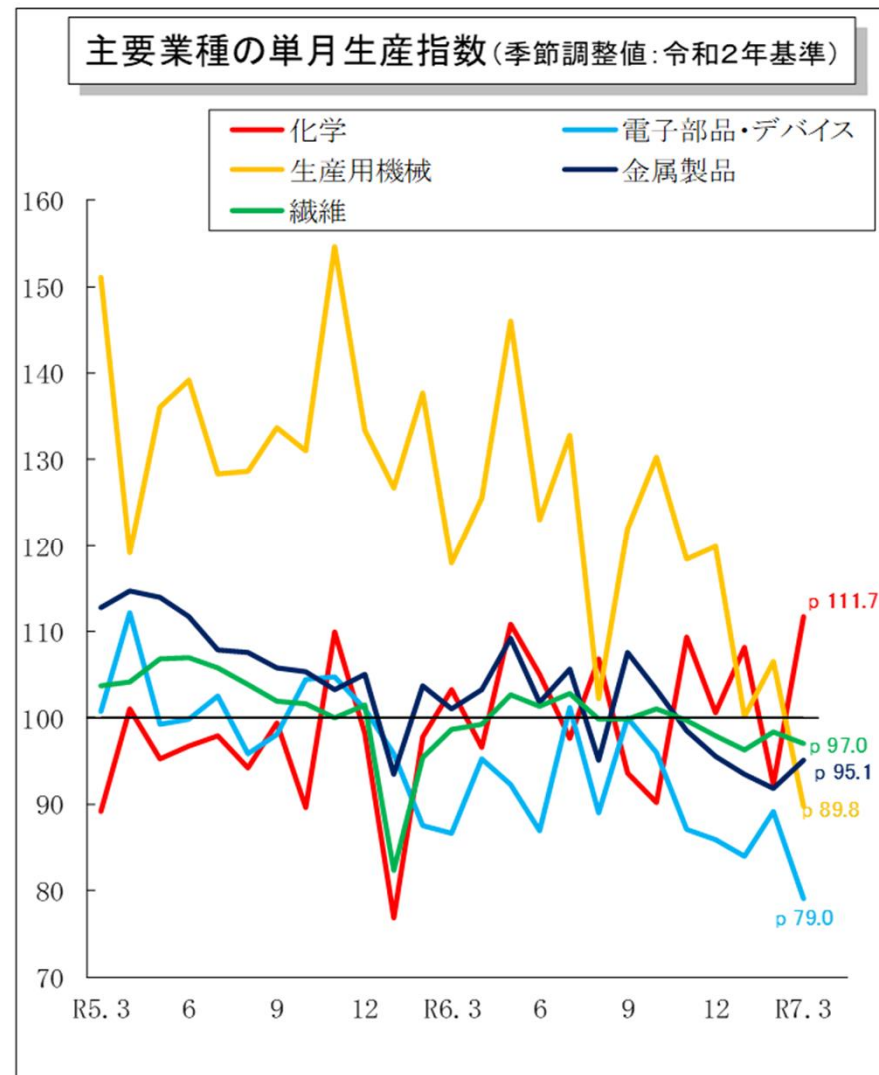
※前回4月判断を据置き(令和6年6月以降、12か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 衣料向けは、物価高でアパレルにおいて在庫消化が進んでおらず、受注が減少している。
- 車輛資材について、自動車メーカーの認証不正問題の影響がなくなり、受注は安定している。

(参考) 米国の通商政策に関する足下の声

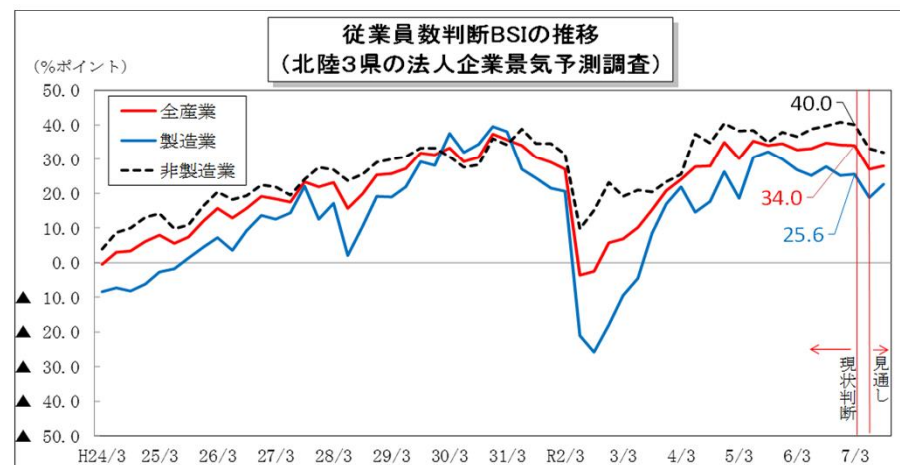
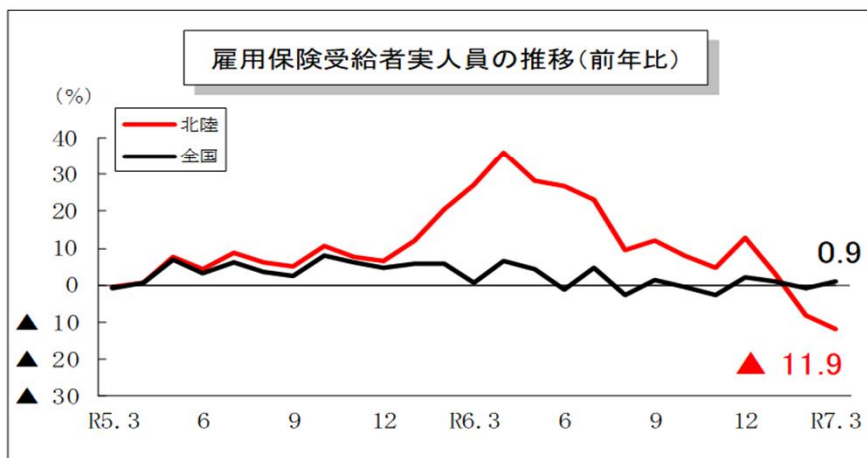
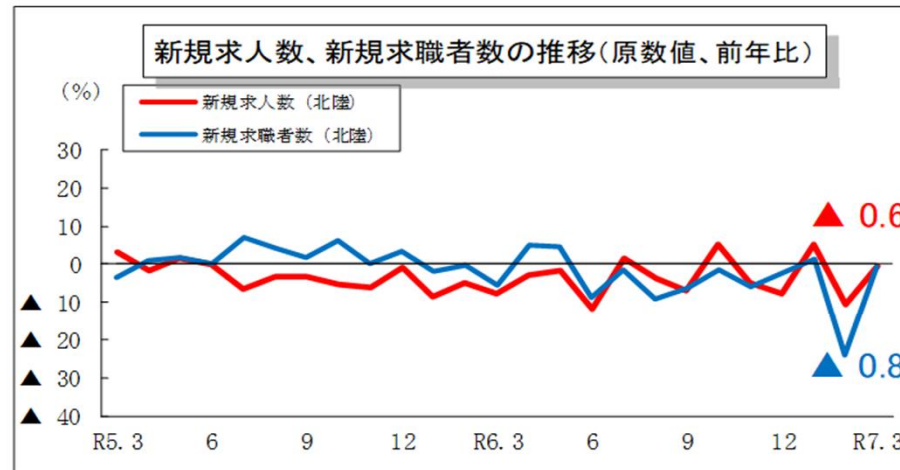
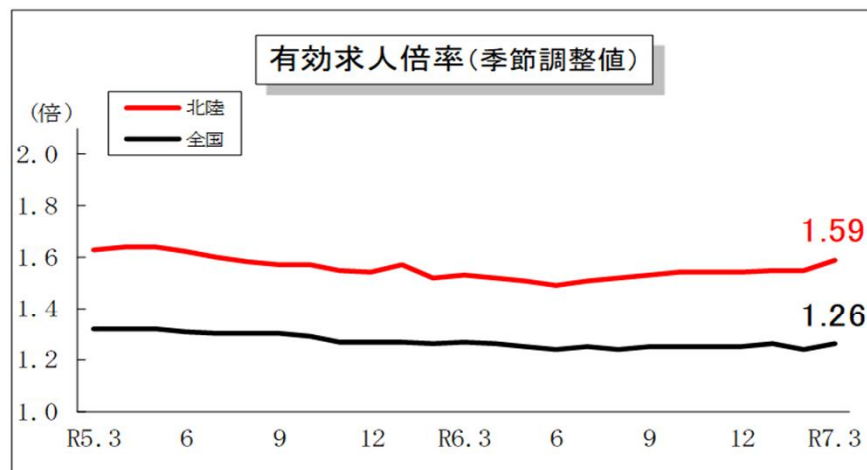
- 米国の現地代理店が様子見に入っており、受注が止まっている(生産用機械)
- 米国内の個人消費減退を懸念して取引先が発注を減らしており、米国向けの受注が当初想定の3割減となっている(その他製造)
- 需要の落ち込みを見込み、米国向けの生産を当初計画から15%程度下方修正した(生産用機械)
- 現時点では影響はないが、関税措置の対象になると一旦は受注が減と考えている(電子部品)
- 今後、米国の物価上昇により個人消費が低迷し、受注が減少することを強く懸念している(繊維)
- スマホ向けは例年に比べて受注が伸びている。現状、関税措置の対象になっていないため、前倒しで注文が入っているのかもしれない(電子部品)
- 中国に工場があるが、中国で生産しても関税で販売価格が高くなるため、国内工場に一部生産移管していく方針(その他製造)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

4. 雇用情勢 … 緩やかに持ち直している

3月の有効求人倍率は、上昇している。
新規求人数、新規求職者数ともに前年並みとなっている。
雇用保険受給者実人員は、前年を下回っている。



(注1) 従業員数判断BSI = 「不足気味」回答社数構成比 - 「過剰気味」回答社数構成比。

(注2) 最新の現状判断は、令和7年3月末時点。

(資料) 厚生労働省、各県労働局、北陸財務局 10

■主要経済指標 (1)【次ページに注記等あり】

	項目			R7年1月	R7年2月	R7年3月	R7年4月	資 料 出 所	備考
個人消費	百貨店・スーパー販売額	全国	億円	19,159	17,306	19,350	・・・	経 済 産 業 省	-
			前年比	4.9	1.9	2.8	・・・		
		北陸	百万円	37,078	31,976	p 35,499	・・・	中部経済産業局	
			前年比	8.1	3.6	p 7.9	・・・		
	コンビニエンスストア販売額	全国	億円	10,496	9,802	11,041	・・・	経 済 産 業 省	-
			前年比	4.1	0.3	4.1	・・・		
		北陸	百万円	20,149	18,734	21,639	・・・	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	0.7	▲ 3.1	2.0	・・・		
	ドラッグストア販売額	全国	億円	7,396	7,047	7,866	・・・	経 済 産 業 省	-
			前年比	6.3	3.4	7.6	・・・		
		北陸	百万円	30,498	29,914	30,746	・・・	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	6.1	7.1	5.1	・・・		
	ホームセンター販売額	全国	億円	2,458	2,286	2,773	・・・	経 済 産 業 省	-
			前年比	0.6	0.3	0.9	・・・		
		北陸	百万円	4,042	3,857	5,512	・・・	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	▲ 14.5	▲ 4.8	5.4	・・・		
	家電大型専門店販売額	全国	億円	4,138	3,616	4,802	・・・	経 済 産 業 省	-
			前年比	5.0	5.6	5.3	・・・		
		北陸	百万円	7,541	6,517	9,546	・・・	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	▲ 1.7	▲ 5.8	5.4	・・・		
	乗用車新車登録・届出台数	全国	台	327,711	354,135	420,279	286,794	(北 陸 財 務 局)	・乗用車新車登録・届出台数は、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ。
			前年比	15.0	18.9	9.5	11.0		
		北陸	台	7,833	9,666	13,825	8,267		
			前年比	21.2	19.2	5.9	11.7		
物価	消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合)	全国 (R2=100)	指数	109.8	109.7	110.2	110.9	総 務 省	-
			前年比	3.2	3.0	3.2	3.5		
		金沢市 (R2=100)	指数	110.1	110.2	110.8	111.5		
			前年比	3.3	3.4	3.6	3.9		
住宅着工	新設住宅着工戸数	全国	戸	56,134	60,583	89,432	・・・	国 土 交 通 省	-
			前年比	▲ 4.6	2.4	39.1	・・・		
		北陸	戸	792	1,198	2,003	・・・	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	12.0	58.5	89.7	・・・		
生産	鉱工業生産指数 (季節調整値)	全国 (R2=100)	(10,000)	99.9	102.2	102.4	・・・	経 済 産 業 省	-
			前月比	▲ 1.1	2.3	0.2	・・・		
		北陸 (R2=100)	(10,000)	98.3	96.9	p 95.3	・・・	中部経済産業局	・鉱工業生産指数・北陸の業種別の(カッコ内)は、基準年の構成比。
			前月比	▲ 1.0	▲ 1.4	p ▲ 1.7	・・・		
		化学	(1,540.5)	108.1	92.3	p 111.7	・・・		
			前月比	7.5	▲ 14.6	p 21.0	・・・		
		電子部品・デバイス	(1,401.6)	84.0	89.2	p 79.0	・・・		
			前月比	▲ 2.2	6.2	p ▲ 11.4	・・・		
		生産用機械	(1,233.3)	100.1	106.6	p 89.8	・・・		
			前月比	▲ 16.5	6.5	p ▲ 15.8	・・・		
		金属製品	(905.8)	93.4	91.8	p 95.1	・・・		
			前月比	▲ 2.2	▲ 1.7	p 3.6	・・・		
		繊維	(579.9)	96.3	98.4	p 97.0	・・・		
			前月比	▲ 1.6	2.2	p ▲ 1.4	・・・		

■主要経済指標(2)

	項目			R7年1月	R7年2月	R7年3月	R7年4月	資 料 出 所	備考
雇 用	有 効 求 人 倍 率 (季 節 調 整 値)	全国	倍	1.26	1.24	1.26	...	厚 生 労 働 省	・有効求人倍率の北陸は、当局において各県の有効求人数、有効求職者数を合算して試算している。
		北陸	倍	1.55	1.55	1.59	...	(北 陸 財 務 局)	
	新規求人数(原数値)	北陸	前年比	5.4	▲ 10.4	▲ 0.6	...	(北 陸 財 務 局)	-
	新規求職者数(原数値)	北陸	前年比	1.3	▲ 24.0	▲ 0.8	...	(北 陸 財 務 局)	
	雇用保険受給者実人員	全国	前年比	0.8	▲ 0.7	0.9	...	厚 生 労 働 省	-
		北陸	前年比	3.3	▲ 8.1	▲ 11.9	...	(北 陸 財 務 局)	
公 共 事 業	公 共 工 事 請 負 金 額	全国	億円	5,662	6,914	17,220	27,254	東日本建設業保証ほか	・公共工事請負金額は、東日本建設業保証、西日本建設業保証、北海道建設業信用保証の3社による公共工事前払金保証実績に基づくものである。
			前年比	▲ 1.3	▲ 22.5	6.0	12.0		
		北陸	億円	287	327	725	1,247	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	62.9	85.0	57.6	89.6		
金 融	預 (未 残 金)	全国	億円	11,525,313	11,510,567	p 11,611,956	...	日 本 銀 行 信 金 中 央 金 庫	・預金の金額は表面預金。 ・単位未満は、金額については切捨てで表示している。 ・国内銀行及び信用金庫の合計で、整理回収機構、ゆうちょ銀行を含まない。 ・北陸は、北陸3県内に店舗を置く国内銀行の合計(3県内店舗分)及び北陸3県内に本店を置く信用金庫の合計。 ・国内銀行は、銀行勘定を集計したもの。ただし、オフショア勘定を含まない。また、中央政府向け貸出を除く。
			前年比	1.8	1.4	p 1.1	...		
		北陸	億円	215,825	215,615	p 219,212	...	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	2.4	2.1	p 1.7	...		
	貸 (未 出 残 金)	全国	億円	6,951,300	6,950,169	p 6,979,248	...	日 本 銀 行 信 金 中 央 金 庫	
			前年比	3.9	3.6	p 3.2	...		
		北陸	億円	107,498	107,464	p 107,591	...	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	1.1	1.2	p 0.8	...		
企 業 倒 産	企 業 倒 産 件 数	北陸	件	16	14	18	14	(株)東京商工リサーチ	・前年比については切捨てで表示している。
			前年比	60.0	▲ 30.0	0.0	27.2		
	負 債 総 額	北陸	百万円	1,550	1,421	6,846	5,900		
			前年比	25.1	41.2	229.2	299.4		

【注記】

- pは速報値である。季節調整等により、数値が改定される場合があるので、利用にあたっては可能な限り最新号によって下さい。
また、資料出所先において、最新の指標や改定値等の公表が行われている場合があるので、利用にあたってはご留意下さい。
- 「北陸」は、断りがない限り、石川、富山、福井の3県である。
- 各県分の資料のみ発表されているものを北陸3県分として集計等している場合は、資料出所欄に「(北陸財務局)」として表示している。
- 金額等の計数及び前年比は、断りがない限り、四捨五入で表示している。